

## 第 1 回高度技術講習会（ウサギ・モルモット）

日 時：平成 20 年 1 月 26 日(土)～平成 20 年 1 月 27 日(日)

場 所：神戸学院大学

講 師：鷹野 正興 先生(神戸学院大学)、平尾 雅朗 先生、山田 寛臣 先生（北山ラベス(株)）  
田村 広明 先生(日本エスエルシー(株))、守屋 孝治 先生（オリエンタル酵母工業(株)）  
中村 正典 先生（カルナバイオサイエンス(株)）、支部幹事

参加者：会員 11 名，非会員 6 名，合計 17 名

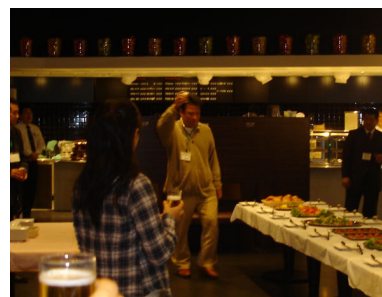
### スケジュール

1 月 26 日(土)

- 12:00～ スタッフ集合 講習準備
- 12:30～12:55 受講生受付
- 13:00～13:05 支部長挨拶
- 13:05～13:20 関西支部倫理教育 岡本教育部長
- 13:20～13:40 神戸学院大学緊急時対応教育 高野准教授
- 13:40～15:10 モルモット講義
- 15:10～15:30 休憩
- 15:30～17:00 ウサギ講義
- 17:30～18:30 懇親会

1 月 27 日(日)

- 8:30～ スタッフ集合 講習準備
- 9:00～ 受講生集合
- 9:30～12:00 実技講習
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～16:00 実技講習
- 16:00～ 修了書授与



## 第 1 回高度技術講習会を受講して

東北大学大学院医学系研究科附属動物実験施設

末田 輝子

「あれから何年過ぎたのだろう・・・」、伊丹空港で乗ったバスの窓から神戸・三宮の街を眺めました。目の前に広がる風景には当時の様子を物語るものは何もありませんでした。さらにモノレールを乗り継いで、しばらく歩くと、青い空・海と白い雲を背景に、目的地である神戸学院大学が見えてきました。普段質素な国立大学を見慣れている私にとって、神戸学院大はまるで広いゴルフ場の中の豪華ホテルのように見えました。肌を刺す寒さの中、関西支部の役員の方々が私達を出迎えてくれました。

1日目のカリキュラムは、教育訓練（動物倫理、緊急時対応）とモルモット、ウサギの講義です。動物を扱う技術研修はこれまでも経験がありますが、事前に動物倫理の講義を設けた研修はこれが初めてです。関西支部の役員の方の姿勢に心が動きました。この新しいスタイルは、今後動物を扱う講習会では、定着するべきとの思いを強く感じました。

2日目、実習室に入ると実験台の上のウサギさんが目に飛び込みました。狭いケージの中でウサギさんは、落ち着き無さそうに当たりの様子をうかがっているように見えました。動物の命を犠牲にすることの責任と憐れみを強く感じた瞬間でした。実技内容は、妊娠判定、採血、各種投与、雌雄判定、解剖 etc. みっちり指導していただき中身の濃い内容でした。また、お昼休み時間も実習室を開放していただいたので、素早く食事を済ませ、実技を復習することも出来ました。実験動物としての使命を終えたウサギさんに感謝をしながら、ご遺体を箱に詰めました。実験動物福祉の観点から適正な飼育管理を実現する為には、私達の高い技術水準と深い思いやりが必要です。今後も動物を扱う技術講習会には、積極的に参加しようと決めておりま

す。次回は、モルモットで皆様との再会を果たしたいです。関西支部の皆さん、ウサギさん、心から御礼を申し上げます。本当に有難うございました。



## 第 1 回高度技術講習会を受講して

株式会社バイオリサーチ

常喜久美子

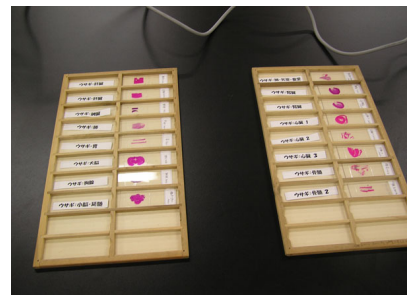
関西支部の講習会に、今回初めて参加させていただきました。実際、業務でモルモットを取り扱っているのですが、モルモットに関する書籍が少なく、取り扱い経験者も私の周りにはほとんどおりませんので、手技などに関して独りよがりなところがありました。また、弊社は、零細企業でまだまだ発展途上であり、社内の情報収集及び技術習得には限度があります。そこで、技術師一級受験希望者であることその他、実際の業務におけるスキルアップを図るため、受講させていただきました。

一日目は、モルモットとウサギの講義でした。普段、当たり前だと思っていたことでも、今回の講義で一度振り返ることで、いくつかの改善点がみつけられました。また、仕事を教える立場になった場合の伝え方においても参考になりました。

二日目は、モルモットもしくはウサギのどちらか希望した動物での実技となりました。手技は、まず目で覚えて、つぎ体で覚えようとしていたのですが、なかなか思うとおりにいきませんでした。一級ともなると段取り力も必要となるようで一度ではスムーズにはいきませんでした。スタッフの方々にサポートしていただき、コツは多少つかんだように思います。実技では、いろんなひとの手技を習うことができたこと、アドバイスをいただいたことは、今後大いに役に立つと思っています。

講習会のあとは、懇親会があり、情報交換のできるいい機会となりました。

次に、第2回、3回と続いて開催されることを期待しております。このような講習会の場を設けていただきありがとうございました。その際は、よろしく願いいたします。



## 第1回高度技術講習会(ウサギ・モルモット) - 倫理規程の作成から講習会開催まで-

関西支部支部長 池淵一也

去る平成20年1月26日(土)、27日(日)に神戸学院大学にて第一回高度技術講習会(ウサギ・モルモット)を開催しました。関西支部では、これまでも実験動物技術者の知識、技術の向上に寄与することを目的に二級技術者レベルの学習会(座学および実技)および微生物実技講習会などを開催してきましたが、今年度は、会員の皆様からの要望に応えるべく、新規講習会の開催を重点テーマのひとつとして取り組み、実現した(辿り着けた)のがこの講習会でした。

講習会を企画、開催するに当たり関西支部動物実験倫理規程を作成し、動物実験委員会を設立しました。講習計画は実験計画書として作成し、委員会審議を経て開催の運びとなりましたが、委員会規程、計画書のドラフト作成は教育部、総務部を中心に電話、メールにて意見交換が行われ、検討はしばしば深夜にまで及んでいました。作業頂いた方々にお礼申し上げます。

そして我々関西支部として念願の講習会が開催当日を迎えたわけです。初めて企画した講習会と言うこともあり多々反省する点がございましたが、講師をお願いしました神戸学院大学鷹野正興先生、北山ラベス平尾雅郎先生、山田寛臣先生、オリエンタル酵母工業守屋幸治先生、日本エスエルシー田村広明先生、カルナバイオサイエンス中村正典先生のご配慮と丁寧かつ厳格な指導で、無事に講習会を終えることができました。

複数の受講者の方から「良い勉強、研修ができた。お世話になりました。」との言葉を頂いたときには感慨深いものがありました。今後、受講者の方々が職場に帰り動物に接する上で、有益な講習会であったなら、企画した我々にとってはこの上ない喜びです。

本講習会および関西支部動物実験倫理規程、動物実験委員会は、生まれたばかりの未成熟なものです。今後、多くの皆様のご指導を仰ぎながら成熟させていきたいと考えております。なお、倫理規程の策定から高度技術講習会の開催まで立ち会えたことは、我々スタッフにとっても非常に良い経験となり勉強させて頂きました。支部スタッフを代表し、関係の皆様へ感謝申し上げます、今後とも相変わらぬご指導をお願い致します次第です。

最後になりましたが、今回の講習会開催に際し、格別のご厚誼を賜りました神戸学院大学および北山ラベス株式会社、日本エスエルシー株式会社に心底よりお礼申し上げます。